

子どもも、おとしよも、ワンちゃんも、鯉のぼりと一緒に大にぎわい！

第9回池袋本町防災まちづくり祭

5月22日、防災ひろばにおいて、第9回池袋本町防災まちづくり祭が行われました。今年も、五月晴れの天空を、元気に泳ぐ沢山の鯉のぼりたちに見守られての開催です。豊島区助役ほか関連部署の部長長等にもご参加いただきました。

祭の幕開けは、5月の青天井に響きわたる末廣町会の少年少女たちによる「木廣太鼓」。今年で3度目の協力出場です。おなじみのけむり体験や、投てき水バック、放水体験、救急救命体験などのスタンプリナー、炊き出しコーナーや非常食(アルファ米)の試食コーナーも、子どももお年寄りも一緒になって大にぎわいでした。炊き出しは、防災倉庫に常備されている灯油焚のバーナーに大なべをかけて、カレーライスをつくりました。四丁目町会の婦人部のみなさんが中心になって大奮闘でした。また、初回からの人気メニューのひとつ、ポスターコンクールには、池袋第二小と文成小の生徒さんから、合計85点の作品が寄せられました。テーマは「私のすま

ち」。人気投票のコーナーでは、「あれがいい」「これもいい」と選ぶ姿が目立ちました。どれもすばらしい作品ばかりでしたが、投票が多い順に「会長賞」2点、「佳作」2点が選ばれました。

一方、今年の新企画は、犬のしつけ「ワンワン教室」です。これは、飼い主と犬と一緒に参加して「ひろばを気持ちよく使う」ためにみんなで考え学びましよう、と企画されました。NPO団体「動物を愛する会」の方々の協力を得ての開催です。「災害時にも役に立つ」と好評でした。毎年続けて防災まちづくり祭の体験・訓練に参加している方は、「いざというときに、少しでも役に立つかもしれない」「継続は力」と話してくれました。

今年も末廣太鼓の演奏でスタート



ポスターがいっぱい！！



小さな子どもも放水を体験



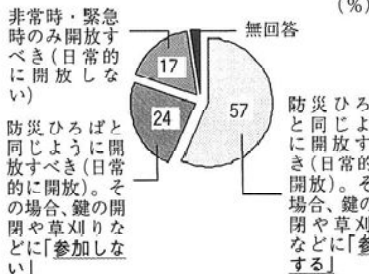
炊き出し作業中！

ワンワン教室も大盛況！

《第9回池袋本町防災まちづくり祭アンケートの回答結果の概要(抜粋)》 回答数 16

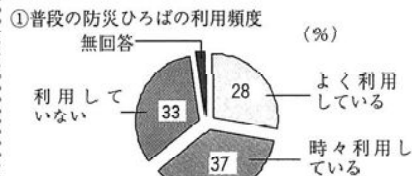
●3月に新しく整備したひろば(防災センター用地)の使い方について

防災ひろばと同じように開放すべきとする回答が約81%となり、その場合、鍵の開閉や草刈りなどに「参加する」とする回答が最も多く57%でした。



●防災ひろばの利用頻度について

防災ひろばの利用頻度については、「よく利用している」と「時々利用している」を合わせて約65%でした。



②「よく利用している」「時々利用している」の主な利用方法

- 子ども、孫を連れて遊びにくる。本人が遊びにくる。
- 散歩をしにくる。散歩途中の休憩場所
- 犬の散歩
- イベントの参加

現在、防災ひろばは、区と住民が協働でかぎの開閉等を行っています「かぎの会(ひろば見守り隊)」のメンバーを募集中。ご希望の方は事務局まで！

日頃の備えが「いのちを守る」防災について考えるきっかけに！

すっかり、まちの年中行事になった防災まちづくり祭。毎年多くの住民と町会と区、消防署や消防団のみなさんの知恵と力を合わせての開催です。今年も子どもからお年よりまで、みんなが楽しく学べる1日でした。

回を重ねるごとに、さまざまな知恵の蓄積を感じます。それらは「あってほしくない」災害時に役に立つことばかりです。たとえば、参加者が体験した「投てき水バック」は、初期消火にとっても役に立つ道具のひとつです。消火器より簡単に扱え、日頃からの備えが大切です。

この日に学び、体験したことを、「いのちを守る」知恵のひとつに加え、防災について考えるきっかけにして欲しいと思います。



救命救急体験



投てき水バックで消火！



まちのみなさんから寄せられた鯉のぼりたち。今年も元気に泳ぎました

かかしに守られ

「防犯ひろば」のお米 大豊作！

池二小の田んぼのお米は、今年もたわわに実り、9月20日に稲刈りが終わりました。今年の夏は、暑い日が続いたせいでしょうか、例年に比べると、やや早い刈り取りです。例年はもみつきで35kgのお米がとれましたが、今年も同じくらい収穫が期待できそうです。

この実りは、夏にデビューした10体のかかしのおかげかもしれません。これらは、池二小の同窓生や、PTAの方々の作品です。色鮮やかな衣装を身につけ立ち並び、田んぼとひろばを見守っていました。カラスもびっくり！

かかしさん、ありがとう！



個性溢れるかかしたち

きりとりせん

郵便ハガキ

恐れ入りますが切手をお貼りください

170-8422

東京都豊島区東池袋1-18-1

豊島区 都市整備部
住環境整備課 防災地区係

池袋本町新しいまちづくりの会
事務局 行